

## 【NEWS RELEASE】

2023年11月7日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

SMBC Rail Services LLCの全持分譲渡について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下「SMFG」、また、当社グループを総称して「SMBC グループ」）傘下の SMBC アメリカホールディングス会社は、米国貨車リース子会社 SMBC Rail Services LLC（以下「SMBC RS」）の全持分を、米国投資会社の ITE Management LP（以下「ITE」）に譲渡すること（以下「本譲渡」）について合意しましたので、お知らせいたします。なお、本譲渡完了は関係当局からの認可取得等を前提としております。

2013年の Flagship Rail Services, LLC 買収及び、2017年の American Railcar Leasing 買収により、SMBC RS は貨車 50,000 台以上を保有する有数の貨車リース事業者となりました。しかしながら、近年の金融規制環境下、SMBC RS においても金融機関傘下の子会社として十全な規制対応が必要となる一方、貨車リース業界の再編や事業環境の変化の結果、更なる業容拡大による事業の効率化、競争力の維持が課題となってまいりました。こうした状況を踏まえ、SMBC グループは、SMBC RS を米貨車リース業界大手の事業者を傘下に保有する ITE への譲渡が SMBC RS の価値の最大化につながると判断し、本譲渡を決定いたしました。

SMBC グループでは、2023年4月にスタートした中期経営計画「Plan for Fulfilled Growth」において、大胆な経営資源のシフトを通じた事業ポートフォリオの見直しを戦略の1つに掲げています。本譲渡を通じて捻出する経営資源を、CIB ビジネス、セールス&トレーディング、デジタルバンク（Jenius Bank）等の成長領域や、経営基盤の強化に資する施策に再配分することで、より資本効率の高い事業ポートフォリオとレジリエントな業務運営の実現を目指してまいります。

なお、本譲渡により SMFG の 2024 年 3 月期第 3 四半期連結決算において、560 百万米ドル程度の円貨相当額の税引後損失<sup>1</sup>を計上する見通しです。本件に関する 2024 年 3 月期の通期連結業績予想への影響については、他の要因も含め、今後検討してまいります。

今後、あらゆるステークホルダーとともに持続的に成長し、長期的な株主価値の向上に努めてまいります。

以 上

<sup>1</sup> 損失額は譲渡合意時点の SMBC RS 純資産見通しに基づき算出しており、変動の可能性があります。